

令和2年4月17日

各県立学校長様

教 育 長
(学校経営戦略推進課)
(学校教育情報化推進課)
(高校教育指導課)
(豊かな心と身体育成課)

県立学校における臨時休業中の自主登校について（通知）

4月16日（木）に国から全ての都道府県に対して緊急事態宣言が発令され、本県においても、知事から外出自粛の徹底等の要請がなされました。

各県立学校においては、自主登校の準備を進めていることと思いますが、緊急事態宣言の趣旨を踏まえ、4月18日（土）から5月6日（水）までの間は、特段の事情がない限り、生徒を登校させないようにしてください。

なお、特別支援学校においては、学校の状況に応じた対応が必要となることから、別途、通知します。

また、休業期間中の学校における学習の指導・支援等について、別紙1・2のとおり、とりまとめましたので、参考にしてください。

〈問合せ先〉

○学校運営全般に関すること

担当 学校経営戦略推進課学校経営支援担当

電話 (082)513-4966

○ICT活用に関すること

担当 学校教育情報化推進課情報教育指導係

電話 (082)513-4895

○学習指導に関すること

担当 高校教育指導課高校教育指導班

電話 (082)513-4994

○健康観察に関すること

担当 豊かな心と身体育成課健康教育係

電話 (082)513-5036

新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた学習指導に関する対応策について

令和 2 年 4 月 17 日
高 校 教 育 指 導 課

1 対応方針

- (1) 全ての生徒に、高等学校学習指導要領に示される「関心・意欲・態度」, 「思考・判断・表現」, 「技能」及び「知識・理解」といった学力を身に付けさせる。
- (2) (1) の学力の定着に加え、自ら学習計画を立て、課題に取り組み、その学習経過等を振り返りなどの活動をさせることにより、学習習慣を身に付けさせる。
- (3) (1) (2) の効果を高めるため、生徒の学習の状況を把握し、指導に生かすとともに、ICT機器が有効に活用できる体制を整え、学習課題の提示・添削、助言等を行う。
- (4) 令和2年度の教育課程の実施に支障が生じる場合は、主たる教材である教科書に基づき家庭学習を課すよう工夫する。その際、生徒の学習が円滑に進むよう、学校及び生徒の実態を踏まえて、教科書と併用できる適切な教材を提供するなどの工夫をする。
- (5) 新入生に対する生活及び学習に係る指導・支援、卒業年次生に対する個別の進路希望に応じた進路指導に係る指導・支援を適切に行う。
- (6) 各取組を実施する際、各学校の指導体制等を踏まえ、教職員の負担が過重とならないよう配慮する。

2 対応方法

(1) 対応策について

各学校の状況に応じ、次の対応策を講じることが考えられる。

例	対 応 策
例①	通信制課程を参考にした指導 ⇒郵送等で生徒と学習課題のやりとりを行う。
例②	HP等で課題の指示 ⇒HPや電話等で学習課題を指示する。

(2) ICT機器を活用した学習支援について

ア ICTを活用した生徒の状況把握及び対応
ビデオ会議システム（「Google Hangouts Meet」等）を活用したSHR、
短時間の質疑応答など

イ 家庭学習の支援

- ① 学習支援ソフトを活用した家庭学習の支援（「G suite for Education」, 「Classi」等）
- ② 学習支援コンテンツポータルサイト等の活用（無料コンテンツ）

名称	URL	作成者
高等学校における学習支援コンテンツ（令和2年4月15日時点）	https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00461.html	文部科学省
新型コロナ感染症による学校休業対策『#学びを止めない未来の教室』	https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/?t=1	経済産業省
NHK 高校講座	https://www.nhk.or.jp/kokokoza/	NHK
おうちで学ぼう！NHK for School	https://www.nhk.or.jp/school/program/	NHK
なるほど統計学園高等部	https://www.stat.go.jp/koukou/	総務省統計局

例① 通信制課程を参考にした指導

流れ	主体	内 容	備 考
1	教員	① 課題の準備（作成） ② 課題の郵送	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる教材に基づき、バランスよく学力を育成する観点に立ち、4観点を踏まえた課題（ドリルやレポート等）を作成する。また、教科書と併用できる適切な教材等を作成する。 ・計画的な家庭学習を促すため課題の内容や学習方法等をまとめた「学習の手引き」、「学習計画・記録表」、「アドバイスシート」等を作成する。 ・保護者の協力を得るため、学校のHPやPTA一斉メールも活用する。 ・各教科の課題、「学習計画・記録表」等を同封し送付する。
2	生徒	① 課題の受け取り ② 家庭学習 ③ 課題の郵送	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の手引き」及び各教科の課題の内容を確認し、自分に合った「学習計画表」を作成する。 ・「学習計画・記録表」を基に課題に取り組み、「学習計画・記録表」に記録をする。 ・各教科の課題、「学習計画・記録表」等を同封し送付する。
	教員	※電話による状況把握	※学校からの電話により、生活状況及び学習状況等を把握する。
3	教員	③ 課題の受け取り ④ 課題の添削 ⑤ 次の課題の郵送	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や学習記録をもとに生徒の学習状況を把握し次の課題に反映させる。 ・必要に応じて学校からの電話等により指導を行う。 ・添削した課題、新たな課題及び課題の添削を基に作成した「アドバイスシート」等を同封する。
4	生徒	④ 課題の受け取り ⑤ 家庭学習 ⑥ 課題の郵送	<ul style="list-style-type: none"> ・「アドバイスシート」及び各教科の課題の内容を確認し、自分に合った「学習計画・記録表」を作成する。 ・「学習計画・記録表」を基に課題に取り組み、「学習計画・記録表」に記録をする。 ・各教科の課題、「学習計画・記録表」等を同封し送付する。

【備考】

I C T機器が整備されている学校においては、「課題の提示」、「添削」等の支援についてI C T機器を有効に活用する。【学校教育情報化推進課の資料を参照】

例② HP等での課題の指示

流れ	主体	内容	備考
1	教員	① 課題の準備（作成） ② 課題の指示	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる教材に基づき、バランスよく学力を育成する観点に立ち、4観点を踏まえた課題（ドリルやレポート等）を作成する。また、教科書と併用できる適切な教材等を作成する。 ・計画的な家庭学習を促すため課題の内容や学習方法をまとめた「学習の手引き」、「学習計画・記録表」等を作成する。 ・学校のHPに課題や関係資料等を掲載し、学習内容や方法等を指示する。
2	生徒	① 課題の受け取り ② 家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の手引き」及び各教科の課題の内容を確認し、自分に合った「学習計画表」を作成する。 ・「学習計画・記録表」を基に課題に取り組み、「学習計画・記録表」に記録をする。 <p>【状況に応じて対応する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※学校からの電話により、生活状況及び学習状況等を把握する。 ※各教科の課題、「学習計画・記録表」等を同封し送付する。 ※郵送により課題を提出する。

留意事項

ア 学習習慣の定着

生徒の規則正しい生活及び学習習慣の維持、学習の流れの分かりやすい提示等の観点から、例えば、一日の学習のタイムスケジュールや一週間の学習の見通しなどを併せて示したり、生徒自ら学習計画を立て、指導者がそれに対してアドバイスを行うなど、計画性をもった家庭学習を促すことが必要である。

イ 家庭学習の内容

生徒に家庭学習を課すに当たっては、次のことに留意する。

- ① 学校が課した家庭学習の内容が教科等の指導計画に適切に位置付くものであること
- ② 当該家庭学習における生徒の学習状況及び成果を適切に把握することが可能であること

ウ 学習評価への反映

臨時休業に伴い学校に登校できない生徒に対して、指導計画等を踏まえながら家庭学習を課し、指導者がその学習状況や成果を確認し、学校における学習評価に反映することができることから、各学校においては、目標・指導・評価の一体化を図るとともに、状況に応じて臨時休業に伴う指導計画の見直し（シラバスの修正）を行うことが必要である。

県立学校臨時休業中の学習支援に係る ICT 活用について

令和 2 年 4 月 17 日

学校教育情報化推進課

1 基本方針

各学校が実施する生徒への課題提示や、生徒の健康・学習習慣の維持のため、生徒又は保護者が保有するデバイス及び通信環境を活用した取組を推進する。

2 使用するサービス（例）

(1) G Suite for Education（ジースイート）

- ▷ Google 社が教育機関向けに提供している学習用クラウドサービス（学校利用は無料）
- ▷ 利用するには、個人ごとに割り振られたアカウントでログインする必要がある。
 - ～ 教員用アカウントは、県立学校の全教員に配付済み
 - ～ 生徒用アカウントについては、令和 2 年 4 月 6 日付け通知「生徒アンケートの実施に係る G Suite for Education 等の活用について」を参照。学校での作成も可能。

(2) その他のアプリ等

- ▷ 学校の使用目的に合うものを活用可
（例：Classi, スタディサプリ, YouTube, Microsoft Teams など）
- ▷ 校務用 PC へのアプリインストールは原則として不可。授業用 PC へのインストール等で不具合がある場合は、学校教育情報化推進課に相談のこと。

3 活用例

通信 負荷	活用場面	活用例
低	生徒の健康状態などの <u>状況把握</u>	G Suite のアンケート機能(Forms)を用いて、毎日の健康状態を回答させ、回答がない生徒には電話連絡する。 ※健康観察アンケートは、Forms にテンプレート作成済み
		G Suite の Classroom の質問機能 又は Forms を用いて、課題に関する質問や悩み事などを送信させる。
中	動画による教科指導 や小テスト等による <u>自宅学習の支援</u>	アンケート機能やファイル共有機能(Classroom, Classi 等)を用いて、課題や小テストを配信し、提出物を採点して返却する。 ※学校HPに課題を掲載することも可能
		各単元のポイント解説などの動画を配信(目安は 10 分程度) ・ Googleドライブに保存して Classroom で共有 ・ 学校公式 YouTube アカウントを取得して学校HPにリンクを掲載
高	教員と生徒との双方 向型の <u>学習支援</u>	チャット機能を用いた遠隔授業 (Classroom などで課題を提示し、チャットで質問を受け付ける。)
		Google Hangouts Meet などのビデオ会議システムを用いた短時間の質疑応答や、週1回のSHRなど ※長時間の使用は通信容量を圧迫するので注意

4 問合せ先

上記の例のうち各学校で実施したい取組の詳細、又は、G Suite の機能などについて相談したい場合は、学校教育情報化推進課 情報教育指導係(082-513-4895)へお問い合わせください。